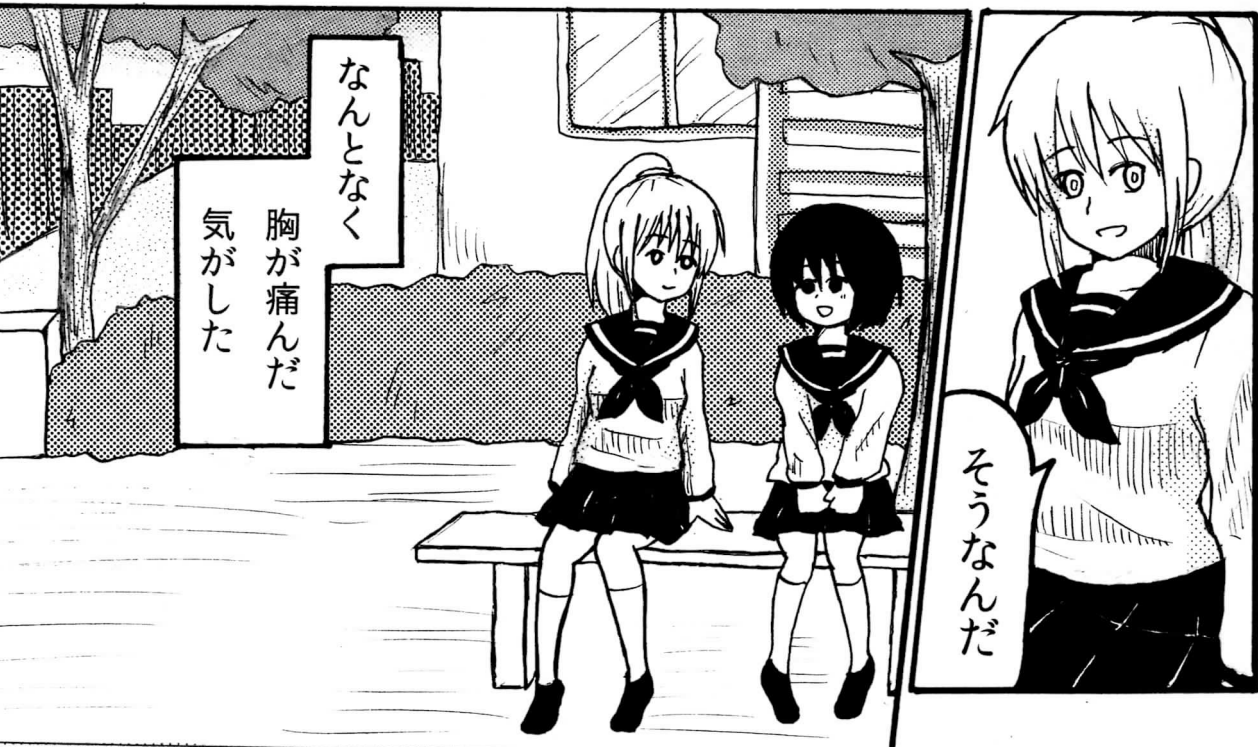


るりちゃん  
わたし

山崎先輩が  
好きなの…



バ

レ

ン

タ

イ

ン

の

話

話



長石彩加

(原案: 齊藤克幸)

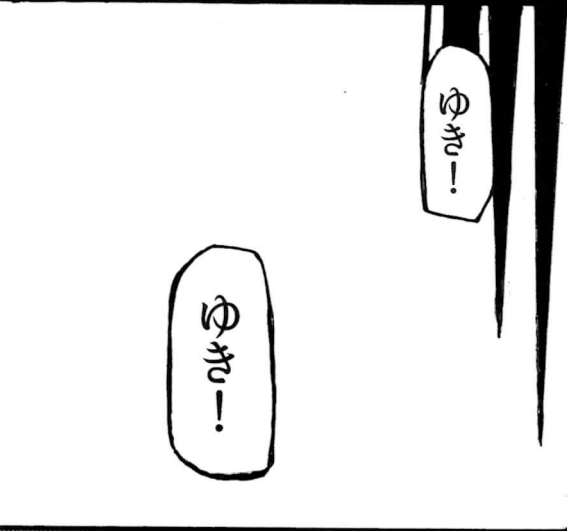


ありがとうございます、俺も  
君のこと好き  
だったんだ



ずっと前から先輩の  
こと好きでした

これ受け取って  
ください！



ゆき！

ゆき！



先輩…

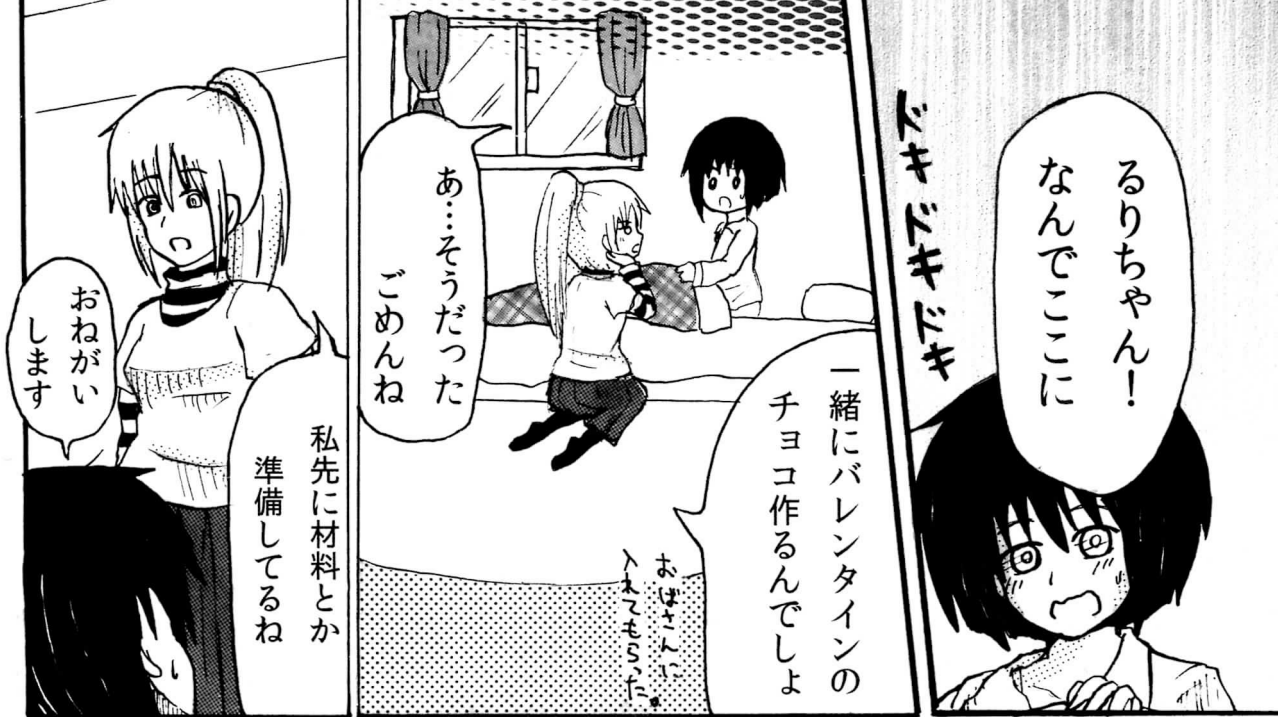


いつまで  
ねてんの

！？

えっ

ん…



おねがい  
します

私先に材料とか  
準備してるね

あ...そうだった  
ごめんね

おぼさん  
入れてもらた

一緒にバレンタインの  
チョコ作るんでしょ

ドキドキドキ

るりちゃん!  
なんでここに



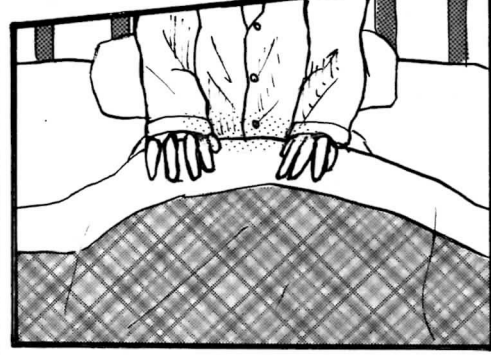
それと

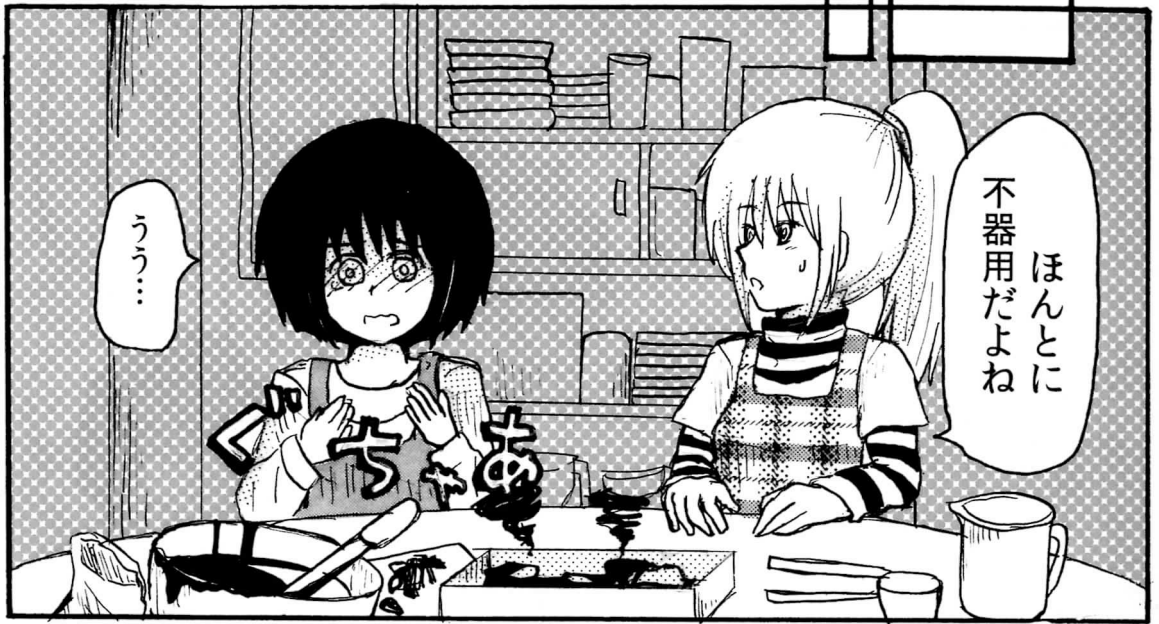


...早く着替えて  
きてねっ!

服はだけてる

う  
うん





うう…

ほんとに  
不器用だよ



どうして  
こんな  
ことに

チョコを直火に  
かけたのとか、  
牛乳入れすぎた  
のとか…



あの人のどこが  
好きなの？

どっつて…



作りなます！

そーいや



チョコ、山崎先輩に  
あげるんでしょ？



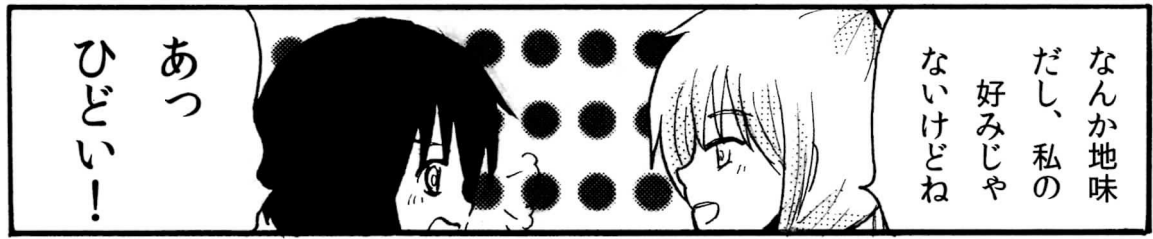
ふーん  
そんなに  
良いのかね

優しくって  
頭良いし

委員会の仕事とか  
困ってたら助けて  
くれたの！

ああ  
もういいや

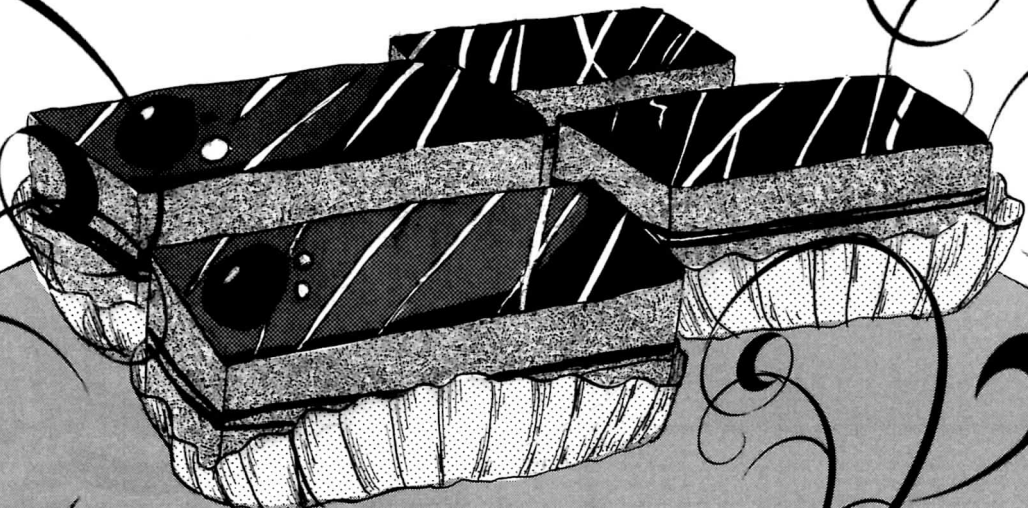
それから  
それから

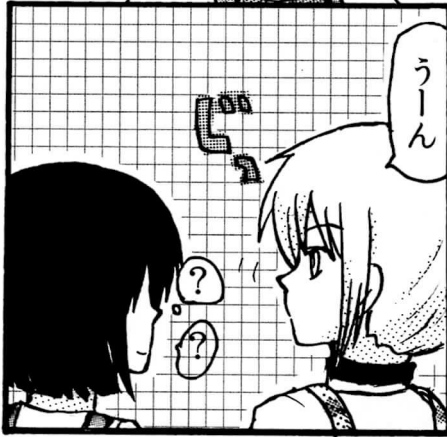
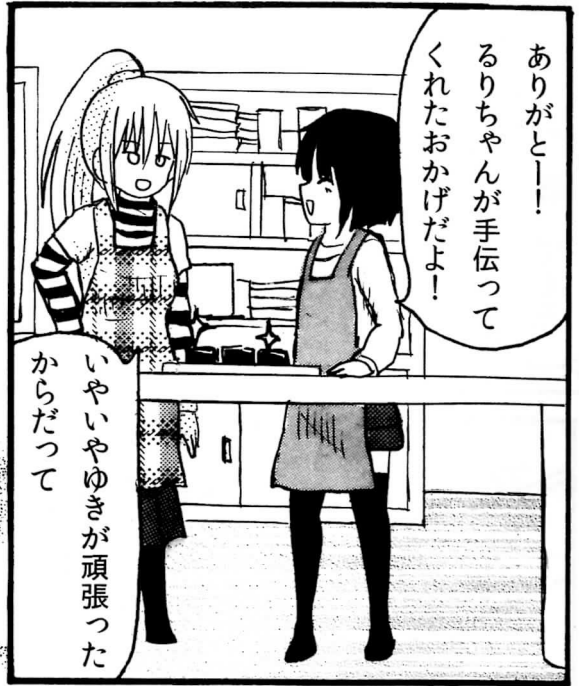


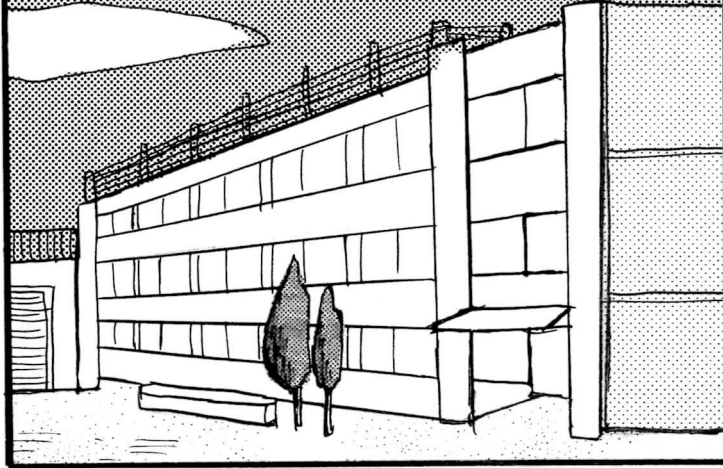
なんか地味  
だし、私の  
好みじゃ  
ないけどね

あつ  
ひびくー！

完成ー！！

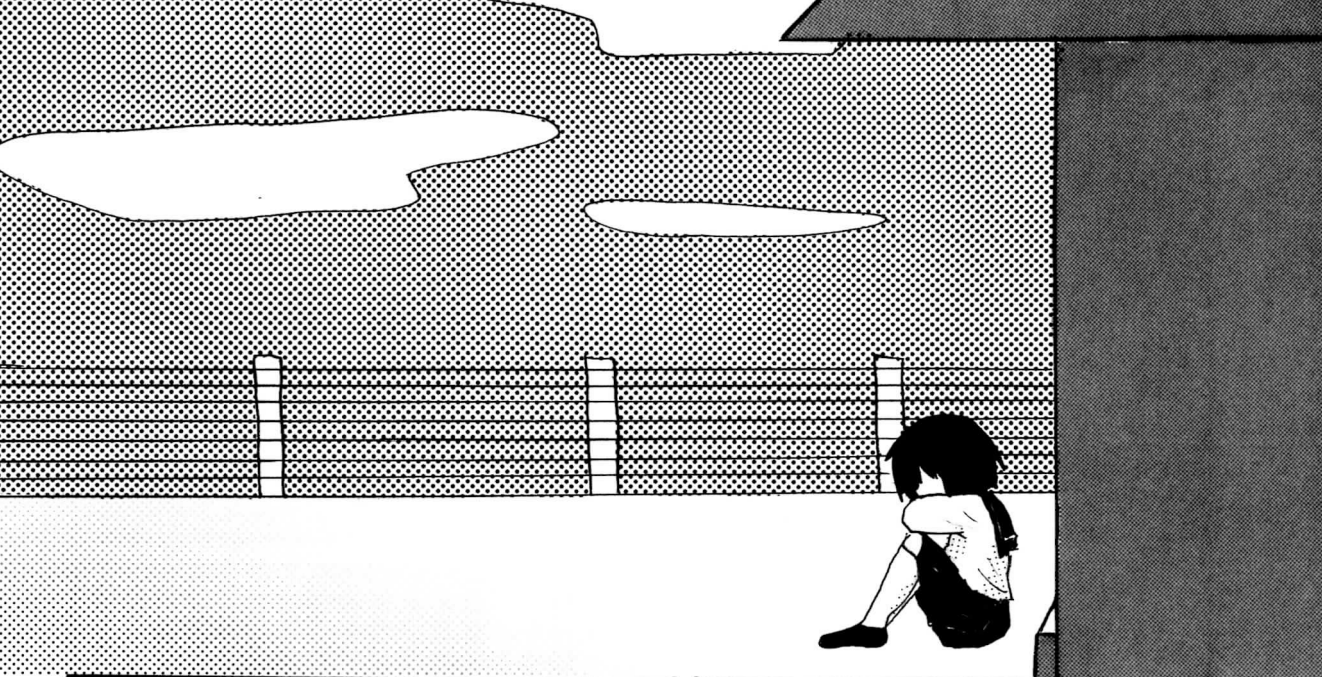


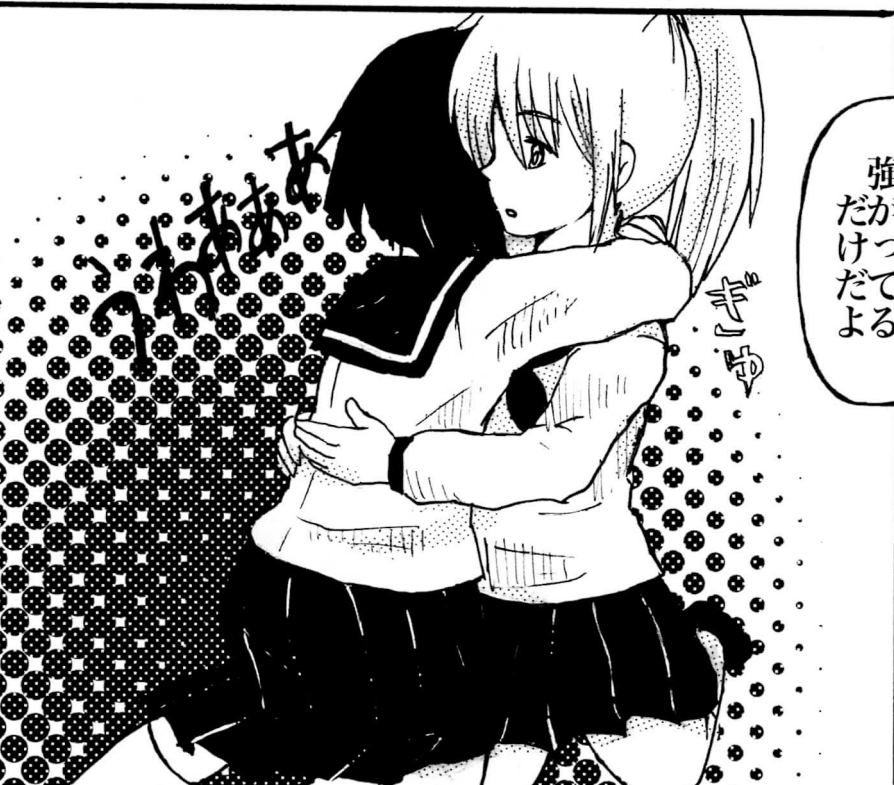












ごめんね

あんなに  
一生懸命なの  
知ってたのに

うれしかった

一番ゆきの事を  
大切におもつて  
るの

私だと  
思うのになあ

最低だ私

ゆきへ